

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

ロータリーのマジック



縦から横へ
横の繋がりで感動を創ろう

RI会長 ステファニーA・アーチック 2024～2025

富津中央RC会長 神子 恒

国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2795 第30回例会 2025. 2. 20晴

点 鐘 : 神子 恒 会長
進 行 : 飯島由美 副SAA
ソング : それでこそロータリー

会長挨拶

神子 恒 会長



皆様こんにちは。今週如何でした？多くの方々と楽しく、有意義に語りお過ごしになられたことと思います。

私は始まる春に思いを寄せて、草刈り、田んぼの整備に忙しく動き回る中、地区全員での土手草(いまどきは、枯れている)の焼き払い作業がありました。

2月9日、私は地区大会の当日に当たり、その行事に参加できませんでしたので、その後、倅と二人で作業をする羽目になりまして、土手・田の周りを右往左往しながら火をつけ、火を消し作業を、終わらせることができました。作業の前と後では、土手・畔の黒色鮮やかに、子供のころバリカンで親父に頭を刈られ丸められたときの様に、黒く綺麗に連なる姿

を、一息入れて腰を伸ばしみたときには、中々に壮観な眺めでした。(周り一面すべて黒く、腰を下ろし座るところは無しです。)

久しぶりに長男と作業をし、倅が後を継ぐとの話、一番大事な此の危険な作業を終えて、教えてなかった大事、継いでいかなければならない大事に、気が付き、彼と30分ほど、、、相手を見るに私の思いがどこ迄通じたのか、唯久しぶりの親子の時間に、感じ入る所があったのか？不思議な面・顔の倅を見つけ、私自身、今此の時間の貴重さを強く感じる時を過ごしました。これからも知りえている事実は、継承しなければならない。

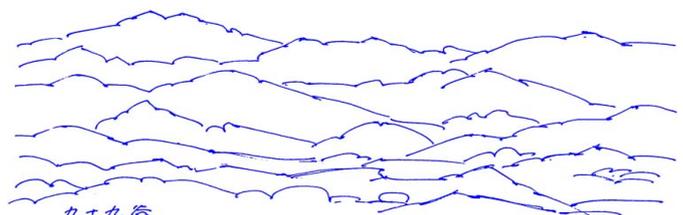
幹事報告

朝月真次郎 幹事



1. 国際奉仕セミナー動画の案内回覧。
2. ハイライトよねやま299回覧。
3. 風の便り Vol.10_No.7(通刊124号)回覧。
4. プラモデル同好会 第3回会合の案内回覧。

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3
いち川旅館
Ichikawa ryokan
841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,
293-0043
Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



委員会報告

袖ヶ浦RC主催ゴルフコンペに参加して

岡田良弘 会員



2月18日(火)にゴルフコンペに参加してきました。場所はジャパンPGAゴルフクラブです。袖ヶ浦RCが8名、富津中央RCが渡辺哲夫会員が参加できなくて残念でしたが、8名の参加でした。

雨も雪も降らない天候でしたが、冷たい風が肌に突き刺さる状態で、とても寒かったです。20年ぐらい前に一度行っていますが、コースは覚えていませんでした。バンカーが多く、距離が長くて、難しい中、優勝したのは岡田会員、準優勝は、榎本会員でした。おめでとうございます。優勝スコアはグロス91でハイレベルでした。

最後に榎本ガバナー補佐より挨拶があり、その中で第5グループの中では、袖ヶ浦RCと富津中央が一番仲が良く、気の合うクラブ同士ということで、これからも末永くおつきあいをしたいとの話があった。また、楽しいゴルフコンペを企画するのでよろしく願います。

会員卓話

大人のひとり旅“てつ旅 旅行記”パート3

渡辺哲夫 会員



これまでの卓話は「大人の休日倶楽部」と「ジパング倶楽部」の会員となって、主に北海道・東北地方の観光地と秘湯温泉をのんびりと一人旅を楽しんで来たことをお話ししましたが、令和6年の昨年はコロナ禍を経てますます人気の一人旅。自由で気ままな一人旅だからこそ、宿のタイプにもこだわり従来の秘湯温泉宿に加えシティホテルも加わった一年間の“てつ旅旅行記”となりました。



今回回った個所

第一弾の最初の一人旅は、「大人の休日倶楽部パス・15, 270円」で1月22日から24日までの2泊3日で、岩手県の東日本大震災の復興状況を「三陸鉄道・リアス線」(以下、「三鉄」とする)に乗り、盛駅から久慈駅までの全線163キロに乗り車窓から眺める計画とした。

そして1泊目の宿泊先に選んだのは、岩手県の「三鉄」の「浪板海岸駅」にある「三陸花ホテル・はまぎく」。震災後、当時の天皇・皇后陛下が震災状況視察に訪れた際、美智子妃殿下が被災したホテルを訪れた際の様子がテレビで放映されたのを見て「三陸花ホテル・はまぎく」とした。

初日のこの日はどんよりとした天気で、東北新幹線一関駅から大船渡線に乗り継ぎ気仙沼駅から大船渡線・BRTに乗り換えて「三鉄・盛駅」から乗車した。しかし、お昼頃から太平洋沿岸からの強風により釜石駅で運行がストップとなる。夕方の4時でしたが既にあたりは暗闇となり、運行の見込みが立たず、仕方なく宿泊先のホテルに連絡したところ釜石駅まで従業員が迎えに来てくれた。

そして2日目も風は強く「三鉄」の運行はストップしたまま。結局ホテルの従業員が宮古駅まで送ってくれた。そして宮古駅から久慈行きの「三鉄」をあき

らめ、JR山田線に乗り換え盛岡駅に向かうことにした。しかし、ここでさらに追い打ちをかけるようにお昼頃から、今度は東北新幹線も宇都宮駅と盛岡駅間で架線事故により運行がストップ。何時に運行できるか見通しが立たないとのこと。予定していた今夜の宿泊先ホテル(青森県の不老ふ死温泉、行くのは2度目。)に電話をしたところ東北新幹線のストップはテレビニュースで承知しており当日のキャンセル料は請求しないとのことで安心した。結局、盛岡駅から秋田駅までは秋田新幹線が運行をすることで秋田駅まで行き秋田駅前のシティホテルに宿泊。翌日秋田新幹線・こまちで東京駅までの帰路についた。

第二弾は2月19日から21日までの2泊3日。北陸新幹線・飯山駅で下車。豪雪で有名なJR飯山線に乗り換え、「JR日本最高積雪地点駅」の森宮野原駅を通過し白銀の世界の車窓旅を楽しみ、今夜の宿泊先は新潟県の秘湯の宿「松之山温泉・凌雲閣」。十日町駅から北越急行ほくほく線に乗り換え、まつだい駅で下車。宿の送迎車に乗り、旅館へと向かう。宿は登録有形文化財・昭和初期建築の木造三階建の古い宿。この日の宿泊客は私を含め3組5人と少なく、チェックインを済まして着替えてからは貸切り風呂も入り放題。よってのんびりと温泉に浸かることが出来、夕食は新潟の郷土料理を楽しんだ。

翌日はえちごトキめき鉄道～しなの鉄道に乗り換え長野駅で下車。その後、善行寺参りをして長野駅前のシティホテルに宿泊。翌日北陸新幹線・はくたかて帰路に着いた。

第三弾は4月22日から23日までの1泊2日。立山黒部・雪の大谷ウォーク“高さ20mに達する巨大な雪の壁”を体験する楽しみに出掛けたが、当日電鉄富山駅の窓口で切符を購入しようとしたが既に団体客の予約等で満席のため室堂行きの高原バスに乗りできず、室堂行きをあきらめ富山市内を2階建て観光バスに乗り市内見学を楽しんだ。その後駅前のシティホテルに宿泊。翌日、高山本線～名古屋駅経由で東海道新幹線・のぞみにて帰路についた。

第四弾は5月12日から15日までの2泊4日。寝台特急サンライズ出雲(B寝台・シングル)に乗って出雲大社の参拝と鬼太郎電車の境線と岡山後楽園散策の旅に出掛けた。

一度は乗ってみたかった寝台特急サンライズ出雲。東京駅発21時50分、出発時間までの間に浅草「浅草寺」と「スカイツリー」の展望台へと観光に向かった。しかし浅草「浅草寺」と「スカイツリー」もこの日は日曜日とあって観光客も多く、特に外人客が非常に目立つ。

「スカイツリー」展望台へのエレベーターも夕方まで予約で一杯。結局展望台へは行くことが出来なかったので諦めて上野駅周辺をぶらり散策して東京駅に引き返した。

そして東京駅に到着後弁当を買い込み、21時50分「寝台特急サンライズ出雲」に乗車。翌日の10時00分に終点駅のJR出雲市駅に到着。駅からは私鉄の一畑電鉄に乗り換え出雲大社前駅で下車。出雲大社では約3時間をかけゆっくりと散策と参拝。最強のワスポで縁結びの神様ということで未だ独身の俵に代わり祈願(効果はなかった)。帰りには丁度お昼食時でもあったので大社前通りで名物の出雲そばを頂いた。そして再び一畑電鉄に乗り込み終点松江しんじ湖温泉駅へと向かった。しんじ湖温泉からは徒歩で松江城を見学後宍道湖温泉の日帰り入浴を堪能し松江駅前のシティホテルに宿泊。

3日目、松江駅からは山陰本線に乗り米子駅で下車。境線に乗り換え終点の境港駅で下車。「水木しげるロード」を散策、道路沿いにはたくさんの鬼太郎ゆかりの妖怪オブジェがあり、終点には「水木しげる記念館」があり入館料700円を払い館内を見学。そして同じ道を戻り境港駅へ。境線に再び乗車し米子駅からはJR伯備線「特急・やくも」に乗車し、15時47分岡山駅に到着。



水木しげる記念館にて

岡山駅からはバスで岡山後楽園と岡山城を見学、そして駅前のシティホテルに宿泊。翌日、岡山駅から山陽・東海道新幹線のぞみにて帰路についた。

第五弾、「大人の休日倶楽部パス・27, 620円」で6月24日から27日までの3泊4日。初夏の道東を巡る車窓旅、札幌～釧路～網走～旭川＋根室半島納沙布岬・釧路湿原の旅とした。

まずは東京駅から東北・北海道新幹線で新函館北斗駅へ。「特急・北斗」に乗り継ぎ札幌駅へ。今夜の宿泊は札幌駅前のシティホテル。夕食は駅近くで名物の札幌味噌ラーメンをいただく。

2日目は、札幌駅を6時45分発の「特急・おおぞら」に乗り一路釧路駅へ。しかし、ここでトラブル発生。釧路駅手前で信号機故障により電車がストップ。約1時間後復旧し発車。釧路駅に着いたのは12時頃。予定より遅れたことにより、次の「根室駅」行きも当然遅れ、その後予定していた根室半島の納沙布岬行のバスに乗っても帰りの便が遅くなるので根室駅まで行き日本最東端駅東根室駅を見学し、釧路駅に引き返す。そして今夜の宿泊先は釧路駅前のシティホテルに。

3日目は釧路駅を6時38分発のローカル線（釧網本線）釧路湿原を經由し網走駅へ。途中釧路湿原では列車も徐行するサービスもあり車窓を楽しんだ後網走駅に到着。網走駅からは網走刑務所行きのバスで向かう。しかし網走刑務所は現在リニューアル工事中とのことで暫くの間お休み。あきらめて駅に戻ることにした。網走駅からは石北本線で「特急・大雪」に乗り旭川駅へ。旭川駅からは函館本線「特急・ライラック」に乗り換え札幌駅に到着し、再び駅前のシティホテルに宿泊。

3日目の早朝に札幌駅を「特急・北斗」に乗り出発。新函館北斗からは北海道・東北新幹線・はやぶさに乗り換え帰路に着いた。今回の旅行は乗車時間が長く車窓を楽しむ旅行となった。

第六弾は、9月9日から9月10日の1泊2日。南会津の「大内宿」と秘湯温泉「芦ノ牧温泉・仙峡閣」宿泊の旅。東北新幹線郡山駅からは磐越西線に乗り換え、そして会津若松駅からは私鉄の「会津鉄道・会津線」に乗り継ぎ湯野上温泉駅で下車。駅からは大内宿行きのバスに乗り、15分程で到着。バス停の目の前は山あいに茅葺屋根が立ち並ぶ宿場町「大内宿」が迎えてくれる。



大内宿

この日は晴天に恵まれ9月初旬とはいえ、とても暑く宿場町を散策していても汗が出てくる。約1時間半散策した後、駅に引き返す。そして次にもう一か所「塔のへつり」の観光予定であったが、暑さと大内宿の散策で汗だくとなり歩き疲れたので、「塔のへつり」の観光をあきらめ今夜の宿、自然豊かな溪谷にたたずむ絶景温泉街の芦ノ牧温泉へ向かった。下車した「芦ノ牧温泉駅」は代々猫が駅長を務めておりテレビ等でもお馴染み。宿泊先の宿「仙峡閣」は芦ノ牧温泉で唯一100%自家源泉かけ流しが自慢の秘湯温泉。駅には宿の主人が迎えに来てくれた。予定より早く着いたので宿泊客は誰もおらずチェックインした後は露天風呂も内湯の大浴場も独り占め。大内宿での散策の疲れと汗を流しのんびりと温泉に浸かった。夕食はすべて手作りの会席料理。温泉への入浴は計5回。満足な一時を過ごし翌日、帰路に着いた。

第七弾は9月29日から10月2日までの3泊4日「大人の休日倶楽部パス・27, 620円」。北海道の

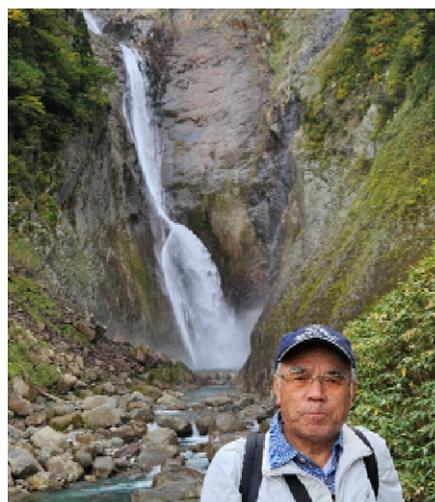
秘湯温泉「上の湯温泉・銀婚湯」と秋田県「JR五能線」に乗って1月に行く予定でした2度目となる「黄金崎・不老ふ死温泉」。そして、3度目となる乳頭温泉郷「鶴の湯温泉・別館山の宿」とそれぞれ秘湯温泉巡りを楽しんだ。

初日の「上の湯温泉・銀婚湯」は渡島半島の山間に自噴する噴火湾に注ぐ落部川沿いに約9万坪もの敷地を持つ銀婚湯。純和風の宿は木立に囲まれ、大浴場や食事処からも望め、訪れる人を魅了してやまないのが庭に点在する5個所の隠し湯です。名前の由来は、大正天皇の銀婚の日に大量湧出に成功したことから命名されたとか。この日の宿泊者は人気の秘湯温泉とあって大勢の宿泊客で賑わった。もう一度訪れたいと思った宿であった。

2日目は、青森駅からJR五能線を走る全席指定席の快速列車「リゾートしらかみ」に乗って絶景の車窓を楽しみ途中、千疊敷駅でしばし電車は停車。観光をした後に再び電車は発車。次の駅はウエスパ椿山駅。2023年3月に一度宿泊した「不老ふ死温泉」に宿泊。海辺の露天風呂で海岸線に沈む夕日を見るために再度計画したが、この日は宿泊客も多く海辺の露天風呂は混浴のため男女が多く入っており混雑していたため、写真撮影はかなわなかったのが残念。

3日目は、秋田県・乳頭温泉郷「鶴の湯温泉・別館山の宿」に宿泊。鶴の湯温泉を訪れたのは今回で3回目。今回は「日本秘湯を守る会」の宿泊スタンプが10個になった為、その中から一か所の宿から選んで1泊無料招待。選んだ理由は10か所の宿の中で料金が一番高かったことと、鶴の湯温泉にも無料で入れる特典があり決めた。鶴の湯温泉の混浴露天風呂の白濁湯にとりこになった。

第八弾は10月21日から22日までの1泊2日。北陸新幹線・かがやきに乗って富山県は世界遺産「五箇山合掌造り集落」と立山の落差日本一の「称名滝」見学である。



称名滝

白川郷の合掌造りは有名で私もこれまでに2度ほど訪れているが、今回は規模が小さいけれど「菅沼合掌造り集落」9棟、「相倉合掌集落」には20棟の合掌造り家屋が現存し、1995年ともに世界遺産に登録されており観光客も多くテレビの放映を見て私もぜひ訪れてみたいと思ったところである。お昼時で昼食には合掌造りの家屋で日本そばをいただくかと思ったが料金が高くあきらめ、宿泊先の富山駅前のシティホテルに向かった。

2日目は富山地方鉄道立山駅からバスが運行。

「称名滝」は紅葉の見どころが10月の下旬頃ということでこの時期に訪れた。しかし最近雨があまり降らず、水量も少なかったため落差日本一、大地を削る豪快な瀑布は見られなかったのはとても残念であった。

ちなみにバスを降りて「称名滝」まではだらだらと上り坂を歩くこと30分。「クマ出没注意」の看板もあり、急ぎ足で歩いたので疲れた。富山駅に戻り、北陸新幹線・はくたかで帰路に着いた。

第九弾の最後は、11月17日から20日までの2泊4日。2度目となる寝台特急サンライズ(瀬戸)に乗車し終点高松駅で下車。そして土讃線に乗り換え、徳島・大歩危峡と秘湯温泉「ホテル祖谷温泉」、3日目は香川・琴刀比羅宮参拝へ。

まず向かったのは、大歩危峡・祖谷は「祖谷のかずら橋」で有名ですが、過去に一度行ったこともあり今回は祖谷溪を流れる吉野川の「大歩危観光遊覧船」に乗って切り立ったV字谷を見学する予定

でしたが、雨が降ってきたので観光遊覧船はあきらめ、まっすぐに大歩危駅からバスで秘湯温泉「ホテル祖谷温泉」の日帰り入浴に向かった。「ホテル祖谷温泉」のホテルに到着後、パンフレットにも出ていた「小便小僧」が近くにあるので歩いて見学に行く。見学途中風雨が一段と強くなり寒くなってきたので急いでホテルに戻り、温泉に浸かることとした。



ホテル祖谷温泉

「ホテル祖谷温泉」名物は日本三大秘境のひとつと謳われ流れる祖谷溪。玄関わきからは全長250m、傾斜度42度のケーブルカーで170m下の露天風呂まで5分。土地の人がフロノタニと呼ぶ深く切れ込んだV字の美しい渓谷の谷底に大きな露天風呂がある。溪流の音を聞きながら豪快に注ぎ入れられる少々ぬるめのお湯にゆっくりと浸かる。はるばる四国の真ん中、山奥まで訪ねてきたかいがあったとつくづく思うのであった。それから再びバスに乗り、大歩危駅からは土讃線に乗り高知駅で下車。まだ時間があったので、「高知城」や「はりまや橋」等を見学し駅前シティホテルに。

3日目は天気も回復し、午前中に香川随一のお参りスポット、「琴刀比羅宮」を参拝。土讃線琴平駅に下車し歩くこと15分。参道入り口からは785段の長〜い石段の参道を30分で登って御本宮に到着。参拝を済ませ又、長〜い石段を下り琴電琴平駅まで歩く。高松琴平電気鉄道に乗り、栗林公園駅で下車。風情ある大名公園散歩と特別名勝「栗林公園」を見学した。そして高松駅に到着。ホテル行くには少し時間もあったので史跡高松城跡とサンポート高松を散策し駅前シティホテルにチェックインとした。翌日、瀬戸大橋線〜山陽・東海道新幹線・のぞみ号にて帰路に着いた。

以上が2024年の9カ所の秘湯温泉等の一人旅ですが、4カ所の秘湯温泉を堪能し1泊は無料宿泊も果たしたので、2025年からも引続き一人旅を楽しみたいと思っております。ご清聴ありがとうございました。

ニコニコBOX

志波生朗 親睦担当部員

神子 恒 渡辺会員卓話ご苦労様でした

朝月真次郎 卓話を楽しく聞かせて頂いて

*榎本会員 今夜の結婚報告会の出席に感謝

袖ヶ浦RCとの合同コンペ準優勝でした

渡辺哲夫 卓話をさせて頂いて

<高橋さん、ご結婚おめでとうございます。>

若鍋武良、岡田良弘、*白石幸久、相川恵津子

飯島由美、

新橋悠実瑛 渡辺さんの卓話を聞いて

岡元 誠 袖ヶ浦RC、富津中央RC合同懇親ゴ

ルフコンペで優勝しました。

<渡辺会員卓話に感謝、高橋さんおめでとう>

平川恵敏、志波生朗、小野恒靖、三枝一雄

高橋裕之 有難うございます。

*相川恵津子 高橋さんのご結婚を祝って

(結婚報告会にて)

* >1,000円 計23,000円

出席報告

平川恵敏 出席担当部員

区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	38/37	23	12	3	62.16%
前回	38/36	26	10	3	72.22%
前々回	38/36	26	10	1	72.22%

出席率の計算式

$$\frac{\text{当日出席した会員数} + \text{Makeupした会員数}}{\text{全正会員数} - \text{当日欠席した免除適用会員数}}$$